

令和5年度 厚生労働科学行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）  
分担研究報告書

障害者手帳を所持する高齢者と所持しない高齢者における生活機能の比較  
長野県飯山市における調査から

分担研究者 岩谷 力 長野保健医療大学  
研究協力者 北村 弥生 長野保健医療大学

**研究要旨** 【背景】障害を持つ人（障害者）の高齢化が進行し、国は「共生型サービス、新高額障害福祉サービス等給与費」を制度化した。共生型サービスの提供にあたり、サービス提供施設では、障害を持つ利用者の障害特性、障害を持たない人との支援ニーズの違いなどの理解が課題となっている。

【目的】共生型サービス制度を円滑に進めるため、障害者手帳を所持する高齢者の生活機能の特性を、障害者手帳を所持しない高齢者と比較して明らかにすること。

【方法】長野県飯山市における2022年度の基本チェックリスト(KCL)調査において、障害者手帳所持者と非所持者の間でKCL25項目と社会性に関する4項目への良回答率（肯定的回答の選択割合）を比較した。

**【結果】**

- 1) 令和4年11月に飯山市在住の65歳以上で介護保険サービスを利用していない6,251名に質問票を送付し5,572名から有効回答を得た（有効回答率90.9%）。
- 2) 回答者は、手帳非所持者が5201名93.3%、身体障害者手帳所持者（身体障害群）325名5.8%、療育手帳所持者（知的障害群）10名0.18%、精神障害者保健福祉手帳所持者（精神障害群）36名0.65%であった。
- 3) KCL 25項目における良回答率は、手帳非所持者と比べ、身体障害群（全体）22項目、切断を除く下肢機能障害群17項目、心臓機能障害群3項目、精神障害群20項目で有意に低かった。
- 4) 社会性に関する4項目における良回答率は、手帳非所持者に比べ、身体障害群（全体）1項目、心臓機能障害1項目、精神障害3項目で有意に低かった。

【考察】介護保険サービスを利用していない65歳以上の高齢者において、障害者手帳所持者は手帳非所持者よりも生活機能が低下していることが示された。この機能低下に対する支援について検討することは今後の課題である。

- A. 研究目的 害福祉サービスの構築に資するために、介  
本研究では、自治体における効果的な障 護保険サービスを利用していない高齢者の

中で、障害者手帳所持者と手帳非所持者の間で、機能の差異を明らかにすることを目的とする。

### 高齢障害者の支援ニーズ探索の必要性

令和5年障害者白書によると在宅の障害者に占める65歳以上の者は身体障害74.2%、精神障害35.1%、知的障害5.5%で、3障害ともに65歳以上の高齢者の占める割合は高率化している(1) 高齢障害者は、生活上の支援ニーズについて障害福祉サービスに相当する介護保険サービスがある場合には原則として介護保険サービスを優先して利用することとされている(2)。

国は障害福祉サービスを利用していた障害者の介護保険サービス利用を円滑にするために、平成30年に「共生型サービス、新高額障害福祉サービス等給与費」を制度化した(3)。

共生型サービスには、不足する介護保険サービス・障害福祉サービスが共生型介護保険サービスで補うことができること、人材不足のなかで、人材の有効活用が期待できること、事業所の職員の総合的な技術、専門性を高められることなどが期待されている(4)。一方で、障害者と非障害者の利用ニーズ、ケアニーズの違いを明らかにすること、障害者向けの介護サービスプログラム開発などが課題となっている(3)。高齢障害者の介護保険サービス利用を円滑に進めるためには、障害のない人と比較して高齢障害者の機能の特性を明らかにすることが必要である。本研究では、介護保険サービスを利用していない高齢者を対象と

する自治体による基本チェックリスト(KCL)調査を活用して、障害者手帳所持者(手帳群)と非所持者(非手帳群)の間に差があるかを明らかにすることを目的とした。

### 1. 調査に用いた質問表

本研究では、基本チェックリスト(KCL)25問に、「同居者はいますか(同居者)」「助けが必要な時に依頼できる家族や友人はいますか(援助者)」「誰かと毎日会話をしていますか(毎日会話)」「地域での集まりに出かけますか(集会参加)」の社会生活に関する設問4項目を追加した調査表(表1)を用いた。

基本チェックリスト(Kihon Check List: KCL)はIADL5問、運動機能5問、栄養2問、口腔3問、閉じこもり2問、認知機能3問、うつ5問、計25問の設問に「はい」か「いいえ」で回答する自記式質問票である。「否定的回答」に1、「肯定的回答」に0を付加し、スコア化し、介護保険の総合事業対象者選定に用いられている(5)。KCLは要介護認定の発生予測、フレイル評価の尺度として妥当性が検証されている(6, 7, 8)。

### B. 研究方法

長野県飯山市において、令和4(2022)年11月に飯山市役所地域包括支援センターより市内在住の65歳以上の介護保険サービスを利用していない高齢者6,251名に区長、隣組長を介して前述の調査表を配布、回収された。6028名から回答があり、そのうちKCL25項目に一問以上回答した5,572名を有効回答とし(有効回答率91.3%)分

析に用いた。

調査参加者データに障害者手帳所持の有無、手帳所持者の手帳交付年月日、手帳種別（身体、知的、精神）、身体障害種別（視覚、聴覚、上肢、下肢、心臓機能、腎臓機能、呼吸機能、ぼうこう・直腸機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能）、身体障害等級、精神障害等級、知的障害等級を加え、解析に用いた。各設問に対する良回答率（肯定的回答者率）を求め、障害者手帳所持者と手帳非所持者の間で、比較した。

飯山市住民基本台帳による 65 歳以上人口は 7,514 名であり、調査対象者 6,521 名は 86.8%に相当する。

### 倫理的配慮および利益相反

長野保健医療大学は、飯山市と「健康・医療・福祉活動の推進、地域づくり支援などに関する連携協定」（平成 30 年 7 月 3 日締結）に基づき、住民データの解析を行っている。本研究は、長野保健医療大学倫理審査委員会からの承認を得て実施した（承認番号 2020-3）。また、研究資金は、令和 4 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）「現状の障害認定基準の課題の整理ならびに次期全国在宅障害児・者等実態調査の検討のための調査研究（20GC2001）」の研究費配分を得た。本研究は、開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

## C. 研究結果

### 1. 回答者のうち障害者手帳所持者の割合

回答者 5572 名中、手帳所持者身体障害

者手帳所持者 325 名 5.8%（以下、身体障害群）、精神障害者保健福祉手帳所持者 36 名 0.65%（以下、精神障害群）、療育手帳所持者 10 名 0.18%（以下、知的障害群）であった。

回答者を性別・障害区分（身体、精神、知的）及び手帳非所持者（以下、非手帳群）・5 歳年齢階層で分類すると、障害者手帳所持者（以下、手帳群）の中で最多であった年齢階層は身体障害では 70-74 歳（75 名：男 42 名、女 33 名）、ついで 75-79 歳（67 名：男 41 名、女 26 名）であり、精神障害、知的障害では 65-69 歳が最多であった。（表 2）。男女間で比較すると、70-79 歳では男が多く（男：83 名、女：59 名）、85 歳以上では女が多かった（男：26 名、女：54 名）。

身体障害群について、障害種別で分類すると、多い順に下肢機能障害 95 名 29.2%（4 級 47 名、3 級 25 名、5 級 12 名、6 級 8 名、2 級 3 名）、心臓機能障害 85 名 26.1%（1 級 61 名、4 級 14 名、3 級 10 名）、腎臓機能障害 25 名（1 級 25 名）、視覚障害 25 名（2 級 13 名、6 級 4 名、1 級・4 級各 3 名、3・5 級各 1 名）、聴覚障害 24 名（6 級 13 名、2 級 6 名、4 級 4 名、3 級 1 名）上肢機能障害 24 名（4 級 7 名、3 級 6 名、2・4 級各 4 名、7 級 2 名、7 級 1 名）であった（表 3）。

障害者手帳の交付が最も多かった年齢は、40-64 歳 166 名、ついで 65-69 歳 47 名、75-79 歳 45 名、70-74 歳 38 名、80-84 歳 31 名であった。（表 6）。

### 2. 手帳群（2 障害）と非手帳群の間の

### KCL 及び社会生活との比較

表 4-1 に、KCL25 項目と社会生活 4 項目について、身体障害群、精神障害群、知的障害群、非手帳群における良回答率、及び身体障害、精神障害と非所持者間の良回答率の  $\chi^2$  検定結果を示した。知的障害群は総人数が少ないため**検定**の対象としなかった。

身体障害では 3 項目、精神障害では 4 項目で良回答率が 50%以下（半数以上の参加者が否定的回答を選択）であった。

手帳非所持者と比較して、身体障害群では 29 項目中 23 項目（栄養：1、認知機能：2、社会生活：3、計 6 項目を除く）、精神障害群では 29 項目中 20 項目（身体機能：3、栄養：2、認知機能：2、うつ：2、社会生活：1、計 9 項目を除く）で良回答率が有意に低かった。

### 3. 身体障害群（視覚、聴覚、上肢機能、下肢機能、心臓、腎臓）における良回答率と下肢機能、心臓機能手帳所持者と非手帳群間の良回答率の比較

表 4-2 に身体障害群のうち、回答者が 24 名以上であった視覚障害、聴覚障害、上肢機能障害、下肢機能障害、心臓機能障害、腎臓機能障害の良回答率と下肢機能障害者、心臓機能障害者と手帳非所持者間の良回答率の  $\chi^2$  検定結果を示した。参加者数が 20 名以下の障害種別は解析から除いた。

良回答率が 50%以下であった項目が認められた機能領域は、3 領域（IADL、運動機能、社会生活）であり、その他の栄養、口腔機能、閉じこもり、認知機能、うつ 5 領域には、良回答率 50%以下の項目は認めら

れなかった。

障害種別に見ると、良回答率が 50%以下であったのは、視覚障害が 8 項目、腎臓機能障害が 4 項目、聴覚障害、下肢機能、心臓機能が 2 項目、上肢機能障害が 1 項目であった。

手帳非所持者と比べ、良回答率が有意に低かったのは、下肢機能群では 29 項目中、16 項目（IADL：4、運動機能：5、栄養：1、口腔機能：2、閉じこもり：1、うつ：4）であった。心臓機能群では、29 項目中、5 項目（IADL：1、運動機能：3、社会生活：1）であった。

### 4. 手帳交付年・年齢

表 5 に、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付年を示した。2000 年以降に障害者手帳交付を受けた者が 371 名中 298 名（80.3%）、2010-2019 年に交付を受けた者が 145 人（39%）であった。本調査回答者の中には 1969 年以前に療育手帳を交付された者、1999 年以前に精神障害者保健福祉手帳を交付された者はいなかった。

表 6 は、障害者手帳所持者の障害種別・等級と手帳交付年齢を示した。手帳交付時年齢が 39 歳以下であった者は 33 名、40-64 歳 166 名、65-69 歳 47 名、70-74 歳 38 名、75-79 歳 45 名、80 歳以上 41 名であった。

### D. 考察

#### 1. 障害者手帳所持者と非所持者との間の生活機能の差

本研究の結果から、介護保険サービスを利用していない 65 歳以上の身体障害者手

帳ならびに精神保健福祉手帳を所持する高齢者では、手帳を所持していない高齢者より、すべての機能領域で良回答率が有意に低い項目が認められた。加齢に伴い、障害の有無に関わらず心身・生活機能が低下するが、障害者手帳所持者は手帳非所持者に比べ、その低下が著しいことがデータにより示された。

身体障害者手帳所持者において、IADL、運動機能、社会生活の領域の項目の良回答率が50%以下の項目が複数みられた。このことは、身体障害者の障害（機能低下、活動制限、参加制約）の特性を示していると考えられる。良回答率50%以下の項目がみられた機能領域は、視覚障害者ではIADL、運動機能、社会生活の3領域、聴覚障害、上肢機能、下肢機能、心臓機能、腎臓機能障害者では、運動機能、社会生活の2領域であり、視覚障害者の障害が及んでいる領域は他の障害者より広いことが示された。

手帳非所持者に比べ、手帳所持者において、良回答率が有意に低かった項目が認められた機能領域は、下肢機能障害者では、IADL、運動機能、栄養、口腔機能、閉じこもり、うつの6領域、心臓機能障害者では、IADL、運動機能、社会生活の3領域であった。これは、下肢機能障害者の障害が及ぶ活動領域が心臓機能障害者より広いことを示している。

これらの知見は、障害の影響が及ぶ生活領域が障害種別により異なることを示している。設問の良回答率と機能低下あるいは活動制限の程度との関係は、今後の検討課題である。

今日の福祉制度では、障害は医学モデル

に基づいて認定されている。障害のとらえ方は生活モデル、社会モデル、権利モデルへと進化している。障害の有無、障害の種別間で、生活機能の違いを検証することは、今後の課題であろう。

## 2. 障害者手帳所持者の年齢と交付年齢

本研究により、飯山市で介護保険を利用していない障害者手帳所持者の障害区分、障害種別、性別、年齢構成が明らかになった。精神障害群のうち80歳以上は4.6%と少ない理由の一つは、精神障害者保健福祉手帳の更新が2年ごとにあり、障害者手帳の更新をしなかったことも考えられる。

手帳制度の創設年度は、身体障害者手帳1951年（昭和26年）、療育手帳1973年（昭和48年）、精神障害者保健福祉手帳1997年（平成7年）であり、内部障害は1967年に心臓機能障害、呼吸器障害が対象とされてから、順次追加されてきた（9）。

手帳種別により交付年にばらつきが見られたことには、障害者手帳制度の創設時期、手帳制度の対象に追加された時期が反映していると考えられる。

また、KCL回答者のうち、障害者手帳交付年齢が40歳未満の者の割合は、身体障害群9.8%、精神障害、知的障害群は0%であった。精神障害、知的障害群で40歳以前に手帳交付を受けた者が少なかったことには、低年齢における障害者手帳取得者の寿命、障害の加齢変化などが関連していると考えられる。低年齢で手帳交付を受けた障害者の加齢に伴う心身機能、生活機能、

社会参加が変化については今後の検討課題である。

## E. 研究発表

### 1. 論文発表

1. 北村弥生、古川智巳、北澤一樹、土屋謙仕、外里富佐江、大井直往、岩谷力. 障害者手帳を所持する高齢者と所持しない高齢者の生活機能の比較:飯山市における調査から. 長野保健医療大学紀要 2023 : 9 ; 21-32.

### 2. 学会発表

1. 北村弥生、古川智巳、北澤一樹、土屋謙仕、外里富佐江、岩谷力. 高齢者のうち障害者手帳所持者と手帳非所持者の機能比較. 日本公衆衛生学会第82回大会. 2023. 11.1. 筑波.
2. 北村弥生, 岩谷力. 介護保険サービス不使用の在宅障害高齢者の年齢構成: 長野県飯山市の場合. 日本リハビリテーション連携科学会 第 25 回大会. 2024. 3. 2. オンライン.

### 文献

1. 内閣府. 令和5年版障害者白書. 参考資料障害者の状況. 2023.  
<https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r05hakusho/zenbun/index-pdf.html> (2024. 05. 01. 引用)
2. 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部. 障害者自立支援法に基づく自立支援給付と介護保険制度との適用関係等について. 2011.  
<https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite>

[/bunya/hukushi\\_kaigo/shougai Shahukushi/kaiseihou/dl/tuuthi\\_111121\\_08.pdf](/bunya/hukushi_kaigo/shougai Shahukushi/kaiseihou/dl/tuuthi_111121_08.pdf)

(2024. 05. 01. 引用)

### 3. 厚生労働省. 共生型サービス

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000212398\\_00016.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000212398_00016.html)

(2024. 05. 01. 引用)

### 4. 三菱UFJリサーチ&コンサルティング. 自治体が共生型サービスに期待していること. 令和元年度老人保健健康増進等事業「共生型サービスの実態把握及び普及啓発に関する調査研究事業」報告書. 2020.

[https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2020/04/koukai\\_200424\\_6.pdf](https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2020/04/koukai_200424_6.pdf)

(2024. 05. 01. 引用)

### 5. 厚生労働省老健局総務課. 介護サービス利用の手続き. 公的介護保険制度の現状と今後の役割. 2018.

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000213177.pdf>

(2024. 05. 01. 引用)

### 6. 遠又 靖丈, 寶澤 篤, 大森 (松田) 芳, 他: 1年間の要介護認定発生に対する基本チェックリストの予測妥当性の検証:大崎コホート2006研究. 日公衛誌 2011; 58(1): 3-13.

7. Satake S, Senda K, Hong H-J et al. Validity of Kihon Checklist for assessing frailty status. Geriatr Gerontol Int 2016;16:709-715.

8. Watanabe D, Yoshida T, Watanabe Y, et al. Validation of Kihon Checklist and the frailty screening index for frailty defined by the phenotype model

in older Japanese adults. BMC Geriatrics 2022;22:478.

9. 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課. わが国における障害認定の歴史的経緯と現状. ノーマライゼーション, 2013年11月.

<https://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/prdl/jsrd/norma/n388/n388003.html>

(2024.05.01.引用)

表1 基本チェックリスト (KCL)					
番号	設問	回答選択肢		設問略称	機能領域
1	バスや電車で一人で外出していますか	0. はい	1. いいえ	バス外出	IADL
2	日用品の買い物をしていますか	0. はい	1. いいえ	買い物	
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ	預貯金	
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ	友人訪問	
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ	友人相談	
6	階段を手すりや壁を伝わらずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ	階段	運動機能
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ	立ち上がり	
8	15分くらい続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ	15分歩行	
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ	転倒	
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ	転倒不安	
11	6か月間で2~3 kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ	体重減少	栄養
12	身長 ( ) cm 体重 ( ) kg BMI = ( ) (BMI<18.5ですか)	1. はい	0. いいえ	痩せ	
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ	固形物	口腔機能
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ	むせ	
15	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ	口渇	
16	週に1回以上外出していますか	0. はい	1. いいえ	週1外出	閉じこもり
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ	外出減	
18	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか	1. はい	0. いいえ	物忘れ	認知機能
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ	電話	
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ	月日不明	
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ	充実感	
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ	楽しみ	うつ
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうになった	1. はい	0. いいえ	億劫	
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ	自己効力	
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ	疲労感	
26	同居者はいますか	0. はい	1. いいえ	同居者	社会生活
27	助けが必要な時に依頼できる家族や友人はいますか	0. はい	1. いいえ	支援者	
28	誰かと毎日会話をしていますか	0. はい	1. いいえ	毎日会話	
29	地域での集まりに出かけますか	0. はい	1. いいえ	集会参加	

「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル(改訂版)平成21年3月 一部改変  
<https://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/dl/tp0501-1c.pdf> (2024.04.29. 引用)

表2 KCL回答者中の障害者手帳所持者と手帳非所持者の性別・年齢内訳

年齢 (歳)	男						女						合計				
	身体	精神	知的	非所持	合計	身体	精神	知的	非所持	合計	身体	精神	知的	非所持	合計		
65-69	人 29	4.1	1	0.6	4	669	709	27	12	3	680	722	56	19	7	1349	1431
	%					94.4	100	3.7	1.7	0.4	94.2	100	3.9	1.3	0.5	94.3	100
70-74	人 42	5.1	5	0	0	773	820	33	4	2	745	784	75	9	2	1518	1604
	%					94.3	100	4.2	0.5	0.3	95	100	4.7	0.6	0.1	94.6	100
75-79	人 41	8.4	3	0	0	447	491	26	3	0	510	539	67	6	0	957	1030
	%					91	100	4.8	0.6	0	94.6	100	6.5	0.6	0	92.9	100
80-84	人 23	6.6	0	0	0	327	350	24	2	0	430	456	47	2	0	757	806
	%					93.4	100	5.2	0.4	0	93.9	99.6	5.8	0.2	0	93.9	100
85-89	人 19	9.6	0	0	0	178	197	33	0	1	272	306	52	0	1	450	503
	%					90.4	100	10.8	0	0.3	88.9	100	10.3	0	0.2	89.5	100
90-	人 7		0	0	0	81	88	21	0	0	89	110	28	0	0	170	198
	%					92	100	19.1	0	0	80.9	100	14.1	0	0	85.9	100
合計	人 161	6.1	15	4	4	2475	2655	164	21	6	2726	2917	325	36	10	5201	5572
	%					93.2	100	5.6	0.7	0.2	93.5	100	5.8	0.6	0.2	93.3	100
平均値		75.6	76.4	67.5	74.5	74.6	74.6	77.2	81	70.7	75.3	75.5	77.7	70.3	69.1	69.49	74.9
中央値		77.5	80	66.5	81	73	73	76.4	75.5	78.5	81.5	75	77	68	66.5	75	87.5
最小値		64	66	65	64	64	64	64	69	64	64	64	64	64	64	65	64
最大値		91	94	69	98	98	98	94	93	85	100	100	97	82	85	85	100

表3 KCLに回答した障害者手帳所持者の障害種別と等級 (人)									
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
身体障害	視覚	3	13	1	3	1	4	0	25
	聴覚	0	6	1	4	0	13	0	24
	音声言語・咀嚼	0	0	3	1	0	0	0	4
	ろうあ	0	3	0	0	0	0	0	3
	上肢切断	0	1	1	3	2	0	0	7
	上肢機能	0	4	6	7	4	1	2	24
	下肢切断	0	0	1	0	0	0	0	1
	下肢機能	0	3	25	47	12	8	0	95
	体幹	1	0	4	0	3	0	0	8
	心臓	61	0	10	14	0	0	0	85
	腎臓	25	0	0	0	0	0	0	25
	呼吸器	3	0	4	1	0	0	0	8
	膀胱	0	0	0	15	0	0	0	15
	肝機能	0	0	0	1	0	0	0	1
	合計		93	30	56	96	22	26	2
障害種別	等級	合計							
精神	1	18							
	2	14							
	3	4							
	計	36							
知的	A1	2							
	A2	0							
	B1	7							
	B2	1							
	計	10							

表4-1手帳群（3障害）と非手帳群のKCL25項目と社会生活4項目における良回答率と手帳非所持者との比較

	障害種別	良回答率（肯定的回答を選択した者の割合）					χ <sup>2</sup> 乗検定 対手帳非所持者 漸近有意確率（両側）	
		身体	精神	知的	非所持	全体	身体	精神
1	バス外出	73.0%	75.0%	70.0%	86.4%	85.6%	0.001>	0.046
2	買い物	83.4%	86.1%	60.0%	94.2%	93.5%	0.001>	0.038
3	預貯金	78.2%	75.0%	30.0%	90.4%	89.5%	0.001>	0.002
4	友人訪問	72.6%	25.7%	30.0%	80.3%	79.4%	0.001	0.001>
5	友人相談	86.2%	66.7%	60.0%	91.0%	90.5%	0.004	0.001>
6	階段	40.7%	58.3%	70.0%	72.6%	70.6%	0.001>	0.058
7	立ち上がり	66.9%	75.0%	60.0%	85.8%	84.6%	0.001>	0.66
8	15分歩行	64.5%	65.7%	70.0%	82.7%	81.5%	0.001>	0.008
9	転倒	70.0%	74.3%	80.0%	79.8%	79.2%	0.001>	0.421
10	転倒不安	43.2%	47.1%	62.5%	65.6%	64.2%	0.001>	0.023
11	体重減少	85.1%	91.2%	71.4%	90.0%	89.7%	0.006	0.815
12	痩せ	91.3%	100.0%	77.8%	92.1%	92.1%	0.649	0.098
13	固形物	68.1%	61.1%	80.0%	76.2%	75.6%	0.001	0.035
14	むせる	72.0%	66.7%	80.0%	81.3%	80.6%	0.001>	0.025
15	口喝	73.8%	62.9%	70.0%	82.6%	82.0%	0.001>	0.002
16	週一外出	86.0%	72.2%	77.8%	93.6%	93.0%	0.001>	0.001>
17	外出減	72.2%	61.1%	77.8%	81.4%	80.7%	0.001>	0.002
18	物忘れ	88.0%	80.0%	100.0%	88.6%	88.5%	0.719	0.111
19	電話	90.9%	82.9%	22.2%	94.3%	93.9%	0.017	0.004
20	月日不明	82.4%	48.6%	77.8%	83.0%	82.7%	0.795	0.001>
21	充実感	81.7%	70.6%	75.0%	89.5%	88.9%	0.001>	0.001>
22	楽しみ	85.6%	88.6%	100.0%	91.7%	91.4%	0.001>	0.497
23	億劫	64.2%	68.6%	77.8%	76.7%	75.9%	0.015	0.256
24	自己効力	80.4%	71.4%	77.8%	88.1%	87.5%	0.001>	0.003
25	疲労感	76.0%	51.4%	77.8%	82.7%	82.1%	0.003	0.001>
26	同居者	89.3%	79.4%	80.0%	87.2%	87.3%	0.279	0.176
27	支援者	98.1%	82.9%	60.0%	98.0%	97.8%	0.803	0.001>
28	毎日会話	94.3%	74.3%	100.0%	93.8%	93.7%	0.721	0.001>
29	集会参加	46.3%	38.2%	11.1%	64.8%	63.5%	0.001>	0.001

表4-2 身体障害群（6障害種別）と非手帳群のKCL25項目と社会生活4項目における良回答率と下肢機能障害、心臓機能障害手帳所持者と手帳非所持者との比較

表4-2 身体障害群（6障害種別）と非手帳群のKCL25項目と社会生活4項目における良回答率と比較										
良回答率（肯定的回答を選択した者の割合）									$\chi^2$ 乗検定 対手帳非所持者 漸近有意確率（両側）	
障害種別	視覚	聴覚	上肢機能	下肢機能	心臓	腎臓	合計	非所持	下肢機能	心臓
例数	25	24	24	95	85	25	325	2726	95	85
1 バス外出	40.0%	70.8%	79.2%	74.5%	78.6%	68.0%	73.0%	86.4%	0.001	0.037
2 買い物	44.0%	91.7%	82.6%	86.2%	90.5%	76.0%	83.4%	94.2%	0.001	0.144
3 預貯金	50.0%	83.3%	70.8%	79.8%	84.5%	68.0%	78.2%	90.4%	0.001	0.072
4 友人訪問	48.0%	70.8%	66.7%	75.8%	81.9%	54.2%	72.6%	80.3%	0.277	0.708
5 友人相談	64.0%	79.2%	91.3%	86.3%	94.0%	84.0%	86.2%	91.0%	0.111	0.352
6 階段	29.2%	50.0%	54.2%	24.2%	42.9%	44.0%	40.7%	72.6%	0.001>	0.001>
7 立ち上がり	48.0%	70.8%	69.6%	54.3%	75.0%	75.0%	66.9%	85.8%	0.001>	0.005
8 15分歩行	58.3%	78.3%	68.2%	58.9%	75.0%	41.7%	64.5%	82.7%	0.001>	0.066
9 転倒	60.0%	83.3%	60.9%	62.1%	72.9%	84.0%	70.0%	79.8%	0.001>	0.121
10 転倒不安	36.0%	58.3%	34.8%	32.6%	53.6%	40.0%	43.2%	65.6%	0.001>	0.022
11 体重減少	79.2%	87.0%	91.3%	79.8%	88.9%	92.0%	85.1%	90.0%	0.001	0.749
12 痩せ	71.4%	90.9%	95.7%	93.9%	95.0%	90.5%	91.3%	92.1%	0.552	0.342
13 固形物	54.2%	70.8%	60.9%	71.0%	72.9%	52.0%	68.1%	76.2%	0.242	0.487
14 むせる	72.0%	70.8%	62.5%	68.8%	77.4%	64.0%	72.0%	81.3%	0.002	0.365
15 口喝	70.8%	83.3%	78.3%	73.1%	75.3%	72.0%	73.8%	82.6%	0.017	0.077
16 週一外出	73.9%	79.2%	78.3%	90.4%	91.5%	83.3%	86.0%	93.6%	0.215	0.434
17 外出減	58.3%	91.7%	61.9%	69.1%	80.2%	75.0%	72.2%	81.4%	0.003	0.795
18 物忘れ	83.3%	83.3%	87.5%	90.4%	91.5%	79.2%	88.0%	88.6%	0.583	0.42
19 電話	70.8%	95.8%	87.0%	92.6%	93.9%	83.3%	90.9%	94.3%	0.499	0.889
20 月日不明	83.3%	87.5%	79.2%	78.3%	86.4%	75.0%	82.4%	83.0%	0.231	0.416
21 充実感	70.8%	91.7%	87.0%	81.1%	85.0%	77.3%	81.7%	89.5%	0.008	0.193
22 楽しみ	75.0%	91.7%	78.3%	86.3%	90.1%	77.3%	85.6%	91.7%	0.058	0.599
23 億劫	66.7%	69.6%	70.8%	61.1%	68.3%	52.2%	64.2%	76.7%	0.001>	0.074
24 自己効力	66.7%	75.0%	82.6%	78.5%	87.8%	77.3%	80.4%	88.1%	0.005	0.936
25 疲労感	62.5%	79.2%	82.6%	73.4%	80.5%	69.6%	76.0%	82.7%	0.018	0.592
26 同居者	87.5%	79.2%	95.7%	89.5%	89.0%	91.7%	89.3%	87.2%	0.511	0.624
27 支援者	91.7%	95.8%	100.0%	97.9%	100.0%	95.8%	98.1%	98.0%	0.963	0.194
28 毎日会話	95.8%	79.2%	91.3%	96.8%	93.9%	95.8%	94.3%	93.8%	0.226	0.962
29 集会参加	37.5%	26.1%	56.5%	57.0%	47.5%	34.8%	46.3%	64.8%	0.116	0.001

註) 良回答率が50%以下、 $\chi^2$ 乗検定で漸近有意確率が0.05以下の項目にマーク

表5 障害者手帳所持者の手帳交付年

交付年	身体障害種別															精神	療育	計
	視覚	聴覚	音声言語 咀嚼	ろうあ	上肢 切断	上肢 機能	下肢 切断	下肢 機能	体幹	心臓	腎臓	呼吸器	膀胱	肝機能	身体 合計			
1954-1959	0	2	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
1960-1969	0	2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
1970-1979	2	1	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	8	0	1	9
1980-1989	2	0	1	0	1	1	0	4	1	1	2	0	0	0	13	0	1	14
1990-1999	1	0	1	0	2	4	0	10	1	12	1	0	0	0	32	1	3	36
2000-2009	7	8	1	0	2	7	0	29	5	10	4	0	4	0	77	22	3	102
2010-2119	7	6	1	0	1	6	1	45	0	40	13	3	9	0	132	11	2	145
2020-2022	6	5	0	0	0	3	0	0	0	22	5	5	2	1	49	2	0	51
計	25	24	4	3	7	24	1	95	8	85	25	8	15	1	325	36	10	371

表6：手帳交付時年齢：障害種別・等級別		手帳交付時年齢									
		-18	19-39	40-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-	合計
視覚障害	1級			2		1					3
	2級		1	7	1	1	2	1			13
	3級									1	1
	4級			2				1			3
	5級								1		1
	6級		1	1	1		1				4
	計		2	12	2	2	3	2	1	1	25
聴覚障害	2級	3		3							6
	3級				1						1
	4級	1		2		1					4
	6級	1		2	1	1	3	2	1	2	13
	計	5		7	2	2	3	2	1	2	24
音声言語	3級			3							3
	4級			1							1
	計			4							4
ろうあ	3級	2	1								3
	計	2	1								3
上肢切断	2級			1							1
	3級		1								1
	4級		1	1	1						3
	5級			1			1				2
	計		2	3	1		1				7
上肢機能	2級			3		1					4
	3級		1	3	1	1					6
	4級	1		4			1	1			7
	5級			3	1						4
	6級				1						1
	7級			1		1					2
	計	1	1	14	3	3	1	1			24
下肢切断	3級			1							1
	計			1							1
下肢機能	2級		2				1				3
	3級	2		6	4	5	7	1			25
	4級	2	1	20	10	3	8	3			47
	5級	1	2	7	1		1				12
	6級	1		3	2	1	1				8
	計	6	5	36	17	9	18	4			95
体幹	1級		1								1
	3級			3		1					4
	5級			3							3
	計		1	6		1					8
心臓機能	1級			20	7	9	8	12	4	1	61
	3級			5			1	4			10
	4級		1	7	2	2		2			14
	計		1	32	9	11	9	18	4	1	85
腎臓	1級		2	9	3	7	1	3			25
	計		2	9	3	7	1	3			25
呼吸器	1級					1	2				3
	3級				1		3				4
	4級						1				1
	計				1	1	6				8
膀胱	4級			7	5		2	1			15
	計			7	5		2	1			15
身体総計		14	15	131	43	36	44	31	6	4	324
精神障害	1級			16	1	1					18
	2級			10	3	1					14
	3級			3			1				4
	計			29	4	2	1				36
知的障害	A1		0	2							2
	B1		3	4							7
	B2		1								1
	計		4	6							10
総計		14	19	166	47	38	45	31	6	4	370
肝機能障害 1名：手帳交付年 記載欠											